

J・P・ゲッティ美術館・国立西洋美術館共催 2009年国際シンポジウム

「美術・博物館コレクションの地震対策」

08.9.9

06年にロサンゼルスにゲッティ美術館ならびにゲッティセンターの主催で **Protecting Collections from Earthquake Damage** と題して、広く文化財を所蔵する機関に向けた地震対策の国際シンポジウムが開催されました。

その後、毎年、地震多発国から招かれた発表者によって、同一主題の移動国際シンポジウムがイスタンブール、アテネで開催されました。各国の文化背景は元より、地震とのつきあい方の違いを反映しながら、それぞれ特徴あるシンポジウムが行われました。このシンポジウムの開催目的は美術・博物館学芸員、保存担当者ならびに行政担当者などを対象に、地震多発地域の大学研究者、美術・博物館担当者、建築土木の現場等の経験に基づき、地震とその被害対策の必要性を喚起し、その理念と最新の技術情報を共有することにあります。

この流れの中、ゲッティ美術館の要請により、来年09年は国立西洋美術館で開催されることとなりました。

日程としては、来年は国立西洋美術館創設50周年に当たり、多くの行事がありますが、シンポジウムは7月21-23日が予定されています。

これまで発表者はゲッティ美術館が招待した10数名程度に加え、各開催地の主催者が招聘した専門家によって構成され、修復家、展示技術者、レジストラ、地震工学研究者、その他に美術・博物館担当者等によって組織されています。我が国での開催では、大きなテーマとして、日本特有の地震防災の問題点に焦点を当て、こ

これまで地震対策の現場で、多くの関係者によって得られた経験から、シンポジウムを構成していきたいと考えております。

これまで地震対策に邁進されて来られた方々の御助言と御参加を仰ぎながら、09年の東京会場のシンポジウムを成功させたいと考えております。皆様の御協力のほどを御願ひ申し上げます。

国立西洋美術館

館長 青柳正規